

# 第1四半期報告書

本書は、EDINET (Electronic Disclosure for Investors' NETwork) システムを利用して金融庁に提出した第1四半期報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものであります。

株式会社セック

(E05400)

# 目 次

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【経営上の重要な契約等】	6
3 【財政状態及び経営成績の分析】	6
第3 【設備の状況】	8
第4 【提出会社の状況】	9
1 【株式等の状況】	9
(1) 【株式の総数等】	9
【株式の総数】	9
【発行済株式】	9
(2) 【新株予約権等の状況】	9
(3) 【ライツプランの内容】	9
(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】	9
(5) 【大株主の状況】	9
(6) 【議決権の状況】	10
【発行済株式】	10
【自己株式等】	10
2 【株価の推移】	10
【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】	10
3 【役員の状況】	10
第5 【経理の状況】	11
1 【四半期財務諸表】	12
(1) 【四半期貸借対照表】	12
(2) 【四半期損益計算書】	13
【第1四半期累計期間】	13
(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】	14
【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】	15
【簡便な会計処理】	15

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】	15
【注記事項】	16
2 【その他】	18
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	19
レビュー報告書	巻末

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年8月14日
【四半期会計期間】	第39期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	株式会社セック
【英訳名】	Systems Engineering Consultants Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秋山 逸志
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町22番14号
【電話番号】	03(5458)7727
【事務連絡者氏名】	経理部長 中川 美和子
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町22番14号
【電話番号】	03(5458)7727
【事務連絡者氏名】	経理部長 中川 美和子
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期 累計(会計)期間	第38期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	439,266	2,474,300
経常損失( )又は経常利益(千円)	115,686	186,592
四半期純損失( )又は当期純利益(千円)	70,240	72,468
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-
資本金(千円)	477,300	477,300
発行済株式総数(株)	2,560,000	2,560,000
純資産額(千円)	3,278,377	3,396,521
総資産額(千円)	3,787,212	3,872,617
1株当たり純資産額(円)	1,280.70	1,326.83
1株当たり四半期純損失金額( )又は1株当たり当期純利益金額(円)	27.44	28.31
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-
1株当たり配当額(円)	-	20.0
自己資本比率(%)	86.6	87.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	207,327	223,155
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	45,611	151,681
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	11,705	66,566
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,874,239	1,699,990
従業員数(人)	229	206

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第1四半期会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第1四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成20年6月30日現在

従業員数（人）	229
---------	-----

（注）1．従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は従業員の総数の100分の10未満であるため記載を省略しております。

2．従業員数が当第1四半期会計期間において23名増加したのは、正社員の新規採用によるものであります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第1四半期会計期間の生産実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額(千円)
技術サービス	モバイルネットワーク	32,942
	ワイヤレス	89,574
	インターネット	121,228
	社会基盤システム	51,508
	宇宙先端システム	52,415
	ソリューション	42,962
	合計	390,631

(注) 1. 金額は製造原価によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当第1四半期会計期間の受注状況を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	受注高(千円)	受注残高(千円)
技術サービス	モバイルネットワーク	26,464	36,246
	ワイヤレス	290,830	208,792
	インターネット	202,189	161,218
	社会基盤システム	156,032	117,309
	宇宙先端システム	139,898	97,127
	ソリューション	20,259	26,760
	合計	835,675	647,455

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間の販売実績を事業の部門別に示すと次のとおりであります。

区分	ビジネスフィールド	金額(千円)
技術サービス	モバイルネットワーク	37,635
	ワイヤレス	109,553
	インターネット	139,623
	社会基盤システム	67,275
	宇宙先端システム	75,429
	ソリューション	9,749
	合計	439,266

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社	77,003	17.5
KDDI株式会社	54,978	12.5
日本電気株式会社	46,344	10.6



## 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 業績の状況

当第1四半期会計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成20年4月と5月の月別売上高は前年同月比で増加となっており、IT需要は全体的には堅調に推移していると判断されます。

当社の第1四半期会計期間は、期初ということで多くのプロジェクトが一斉にスタートする中で業績見込みの変動が大きくなりがちで、4つの四半期の中で業績が一番振るわないことが多くなっております。

こうした傾向の中、当第1四半期会計期間の商談状況はほぼ期待どおりでしたが、受注が第1四半期会計期間の後半に集中したため、当第1四半期会計期間の売上高に結び付かず営業損失になりました。しかしながら、受注残高が期待を上回っており、これが第2四半期会計期間以降の売上高に反映されます。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、携帯電話を利用したサービス系の商談が遅れ、売上高及び受注高は期待を下回りました。ワイヤレスBFは、予想どおりの縮小傾向で売上高は期待を下回りましたが、新規取引先の開拓や一部取引先で商談が回復し、受注高は期待を上回りました。インターネットBFは、プロジェクトの組み替え時期にあたり、売上高及び受注高は期待を下回りました。社会基盤システムBFは、売上高は期待を下回りましたが、交通関連の大型技術アプリケーションの商談により受注高は期待を上回りました。宇宙先端システムBFは、売上高は期待を下回りましたが、商談はほぼ予定どおりで受注高は期待を上回りました。また、ソリューションビジネスは、売上高は期待を下回っているものの、受注高は期待を上回っております。

全社売上高に占める割合では、インターネットBFと社会基盤システムBFが増加し、ワイヤレスBFが低下しております。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高439百万円、営業損失138百万円、経常損失115百万円、四半期純損失70百万円となりました。

### ビジネスフィールド（BF）別売上高

区分	ビジネスフィールド	金額（千円）	構成比（％）
技術サービス	モバイルネットワーク	37,635	8.6
	ワイヤレス	109,553	24.9
	インターネット	139,623	31.8
	社会基盤システム	67,275	15.3
	宇宙先端システム	75,429	17.2
	ソリューション	9,749	2.2
	合計	439,266	100.0

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ174百万円増加して、期末残高は1,874百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において営業活動の結果得られた資金は207百万円となりました。これは主に、税引前四半期純損失115百万円、賞与引当金の減少67百万円による減少、売上債権の減少256百万円による増加の結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において投資活動の結果支出した資金は45百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出29百万円、差入保証金の差入による支出11百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期会計期間において財務活動の結果得られた資金は11百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加54百万円、配当金支払いによる支出42百万円などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期会計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期会計期間における研究開発活動の金額は、32,496千円であります。

なお、当第1四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第1四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期会計期間において、前事業年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成20年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,560,000	2,560,000	ジャスダック証券取引所	(注)
計	2,560,000	2,560,000	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年4月1日～ 平成20年6月30日	-	2,560,000	-	477,300	-	587,341

#### (5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

#### (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

##### 【発行済株式】

平成20年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,559,600	25,596	同上
単元未満株式	普通株式 300	-	同上
発行済株式総数	2,560,000	-	-
総株主の議決権	-	25,596	-

##### 【自己株式等】

平成20年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社セック	東京都渋谷区桜丘町22-14	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月
最高(円)	860	940	1,300
最低(円)	795	830	940

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

## 3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高等から見て、当企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.6%
売上高基準	0.0%
利益基準	2.0%
利益剰余金基準	0.0%

1【四半期財務諸表】  
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,874,239	1,699,990
受取手形及び売掛金	434,230	655,805
その他	175,700	243,235
流動資産合計	2,484,170	2,599,031
固定資産		
有形固定資産	<sup>1</sup> 48,707	<sup>1</sup> 52,675
無形固定資産	137,330	122,981
投資その他の資産		
長期預金	600,000	600,000
その他	517,004	497,929
投資その他の資産合計	1,117,004	1,097,929
固定資産合計	1,303,041	1,273,586
資産合計	3,787,212	3,872,617
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,771	56,479
短期借入金	92,000	38,000
未払法人税等	6,195	3,963
賞与引当金	86,000	153,000
その他	197,902	104,260
流動負債合計	385,869	355,702
固定負債		
役員退職慰労引当金	113,392	111,391
退職給付引当金	6,873	6,302
その他	2,700	2,700
固定負債合計	122,965	120,393
負債合計	508,835	476,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,210,302	2,331,740
自己株式	218	170
株主資本合計	3,274,725	3,396,212
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,652	308
評価・換算差額等合計	3,652	308
純資産合計	3,278,377	3,396,521
負債純資産合計	3,787,212	3,872,617

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	439,266
売上原価	390,631
売上総利益	48,635
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 187,177
営業損失( )	138,542
営業外収益	
受取利息	2,240
受取配当金	203
補助金収入	16,020
その他	5,280
営業外収益合計	23,746
営業外費用	
支払利息	241
不動産賃貸費用	648
営業外費用合計	890
経常損失( )	115,686
特別損失	
固定資産除却損	42
特別損失合計	42
税引前四半期純損失( )	115,728
法人税、住民税及び事業税	3,795
法人税等調整額	49,283
四半期純損失( )	70,240



## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失( )	115,728
減価償却費	18,796
固定資産除却損	42
賞与引当金の増減額( は減少)	67,000
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	2,001
退職給付引当金の増減額( は減少)	570
受取利息及び受取配当金	2,444
支払利息	241
売上債権の増減額( は増加)	256,048
仕入債務の増減額( は減少)	52,708
未払金の増減額( は減少)	875
未払消費税等の増減額( は減少)	10,311
その他	115,813
小計	166,820
利息及び配当金の受取額	41,585
利息の支払額	329
法人税等の支払額	748
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	3,423
無形固定資産の取得による支出	29,651
投資有価証券の取得による支出	1,489
差入保証金の差入による支出	11,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,611
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	110,000
短期借入金の返済による支出	56,000
自己株式の取得による支出	48
配当金の支払額	42,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,705
現金及び現金同等物に係る換算差額	827
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	174,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,699,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 1,874,239

**【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】**

当第1四半期会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

**【簡便な会計処理】**

当第1四半期会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

**【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

当第1四半期会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額は、232,988千円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、229,946千円であります。

(四半期損益計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1 販売費及び一般管理費の主な費目及び金額は次のとおりであります。	
(千円)	
給与手当	44,012
賞与引当金繰入額	12,611
退職給付費用	4,560
役員退職慰労引当金繰入額	2,001

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年6月30日現在)(千円)	
現金及び預金勘定	1,874,239
現金及び現金同等物	1,874,239

(株主資本等関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)及び当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 2,560,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 176株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月26日 定時株主総会	普通株式	51,197	20.00	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金

(有価証券関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期会計期間末(平成20年6月30日)

当社はデリバティブ取引を全く行っておりませんので該当事項はありません。

(持分法損益等)

当第1四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期会計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 . 1 株当たり純資産額

当第 1 四半期会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前事業年度末 (平成20年 3 月31日)
1 株当たり純資産額 1,280.70円	1 株当たり純資産額 1,326.83円

2 . 1 株当たり四半期純損失金額

当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
1 株当たり四半期純損失金額 27.44円
なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1 株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
四半期純損失 (千円)	70,240
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純損失 (千円)	70,240
期中平均株式数 (株)	2,559,833

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

( リース取引関係 )

当第 1 四半期会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 当社のリース物件は、事業内容に照らして重要性が乏しく、契約一件当たりの金額が少額であるため、記載を省略しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年 8月 6日

株式会社セック

取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 遠藤 康彦 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 早稲田 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セックの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第39期事業年度の第1四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的な手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セックの平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。